

坂東地域アグリ通信

平成27年5月20日

坂東地域農業改良普及センター 発行

Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

めざせ道の駅出荷！ 五霞農業塾を開講

4月20日（月）に、JA茨城むつみ五霞支店にて五霞農業塾の開講式が行われました。

五霞農業塾は農業の担い手を育成するため、五霞町、JA茨城むつみ及び坂東地域農業改良普及センターが連携して、平成26年度から開講しています。

目標は、道の駅農産物直売所等に出荷できる技術を身につけること、そして受講生の情報交換の場をつくることです。

塾の内容は、農業未経験者および農業経験の浅い方を対象に、実際にほ場を借りての栽培実習や、土づくり・農薬の使い方など、講義も交えて月1回程度を計画しています。



さかい4Hクラブが 「さかい菜の花フェスティバル」で野菜を直売

4月26日（日）、さかい菜の花フェスティバルの軽トラ市でさかい4Hクラブが野菜の直売を行いました。今年は好天に恵まれ、クラブ員の新鮮な野菜を目当てに多くの方が訪れ、用意したカリフラワーやレタス、ズッキーニなど各種野菜は完売しました。

また、当日は菜の花畑のトラクター遊覧も実施し、クラブ員のトラクターに揺られながら多くの家族連れが一面に広がる菜の花畑を楽しみました。



第4回坂東レンゲまつり開催

5月9日（土）、第4回坂東レンゲ祭りが坂東市^{むしろうち}蕙打の21haの水田で開催されました。

レンゲまつりは、緑肥を利用した環境にやさしい農業の推進や坂東市を広く内外にPRすることを目的として実施しています。

当日のイベントでは、野菜収穫体験や、ブーケコンテスト、フォトコンテスト等が開催され、多くの家族連れで賑わいました。



地域の名産品「さしま茶」を学ぶ

5月11日（月）、県茶生産者組合連合会坂東支部では、農業大学校園芸部と坂東普及センターを会場に「さしま茶ふれあい学習」を開催しました。

今年は、坂東市内13の小学校から小学4年生454名が訪れ、茶摘み体験や茶工場の見学を通してさしま茶について学びました。

体験では、児童が友達同士で競い合うように、茶の新芽「一芯二葉」を丁寧に摘み取っていました。



農業には若さがある！

このコーナーでは、若手農家を訪問して、農業への思いなどをインタビューしています。今月は坂東市逆井の、野口剛志さんをご紹介します。剛志さんは就農10年目で、ご家族と一緒にハウス2000坪、露地1.2haでチンゲンサイを栽培しています。

「どうして就農しようと思ったのですか？」

長男ということもあり、新潟の大学を卒業後、実家に戻り就農をしました。

「就農してからの心持ちはどうですか？」

小学生の頃から農作業の手伝いをしており、就農してからの気持ちの変化はありませんでした。

「今頑張っていることや心がけていることはありますか？」

収穫した後の選別で、虫食いが無いものや大きさなど、形が良い物を選ぶなどして、最高品質のものを増やし、箱単価を上げることに力を入れています。

「農業の楽しいこと、つらいことは何ですか？」

農家をやっているれば、食について困らないことは魅力のひとつだと思います。また休憩時間などに趣味の車いじりをするなど、自分の時間を作ることも出来ます。

つらいことは天候が悪くなると、その時期の収量に変化が出てきてしまうのと、ハウスなどの資材が破損しないか心配になります。

「これからの目標は何ですか？」

一つ目は、安心して買って頂けるような品質を保つことです。

二つ目は、人手を減らして、安定した生産が出来るように機械化を図ることです。

「最後に一言お願いします！」

まだまだ若いですが、これからも頑張っって品質の向上に努めたいと思っていますので、よろしくお願いします。



～チンゲンサイのハウスにて～

向こう2ヶ月の気象情報 (気象庁4月24日発表)

- 6月は、前線や低気圧の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
- 7月は、前線や低気圧の影響で、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

6月は高温小雨なので、アブラムシやアザミウマ等の害虫の繁殖が懸念され、7月は湿気が多くなりそうなので、軟腐病や細菌の繁殖が心配されます。防除は早めに行いましょう。

編集
後記

ゴールデンウィークを過ぎてから、季節外れの台風や、関東地方では日中夏並の暑さになるなど、急激な環境や温度変化は体調を崩しやすいので、外やハウスで作業をするときは、体調管理に十分気をつけてお過ごし下さい。